

北島町議会だより

2024.3.1 No.36



- | | |
|-------|-------------|
| 2～4 | 中学生との町民会議 |
| 5 | 中学校出前授業 |
| 6～10 | 一般質問（12月議会） |
| 11 | 常任委員会レポート |
| 12～13 | 調査研究のまとめ |
| 14～15 | PTA役員との懇談会 |
| 16 | 請願について |

こんなこと 教えて 議員さん!!

村上
華那
さん

【質問者】2年

① 北島町には中学校が1つしかなく、北島中学校は人数が多く、教室の数が6、7個でぎりぎり収まっている状態です。何か対策はありますか。

宮本
敬行
議員

【答弁者】

全国的には生徒数の減少により統廃合される学校も多い中、北島中学校では、生徒数も増加しており県内随一の大規模校として活気に満ちています。一方では、今後の教室不足も懸念されています。町では、生徒数の推移に留意しつつ、教室が不足する見込みとなった場合には、教室を増設する方向で検討します。皆さんの学校生活に支障がでないよう対応してまいります。

フレミオ
真凜
さん

【質問者】2年

② 北島町には学生が自習できるスペースが少なく、家以外で自習がしたい時にできない時があります。今後、町内で自習スペースを増やす予定や案はありますか。

羽坂
登志馬
議員

【答弁者】

皆さんの要望を受け、夏休み期間中の自習スペースを図書館・創世ホール内に設置いたしました。現在は、受験生応援企画として2月末までの平日を自習スペースとして提供しています。今後も、利用希望が多い夏休み期間などに提供する予定としていますので、活用していただければと思います。今後の拡充については、利用状況などをみながら検討していきます。

田村
翔輝
さん

【質問者】2年

③ 立道線での事故が多かったり、見通しの悪い交差点が多くあつたりします。信号機の設立やカーブミラーなどの設置は考えていますか。

北島
昭文
議員

【答弁者】

昔は主要道路だった立道線ですが、幅員も狭いうえに脇道も多く、見通しが悪く危険な箇所が多数存在しています。そのような場所には信号機や一時停止、カーブミラーの設置など交通安全対策を行っておりますが、まだまだ不十分なところがあるかもしれません。

信号機や一時停止などの規制を伴う施設の設置は「徳島県公安委員会」が行い、カーブミラーや路面標示は町で対応が可能です。

小堀
直樹
さん

【質問者】2年

④ 議員さんたちから見て、北島町はどのような町ですか。また、その意見について、改善対策やより北島町を発展させる方法を教えてください。

増谷
楳通
議員

【答弁者】

北島町は、通勤や通学、商用など交通環境に恵まれ、買い物などの利便性や教育環境の充実など住みやすい環境が整っています。それは、都市計画を実施し、道路や公園、水路、文化施設などが整備され、最近では、工場進出も進み、働く職場も増えています。

その反面、都市化が進んだ結果、緑が減り、公園・田んぼが少なくなり、集中豪雨等による被害を防ぐ対策と、朝夕の交通渋滞や交通事故等の対策が必要になっています。

これらの対策としては、①都市計画の見直しと浸水対策、②子どもや高齢者が安心して利用できる公園緑地づくり、③教育環境、教室や児童館の増設、④これらの整備に必要な財政を確保する年次計画を立て、交付税や補助金、ふるさと納税等を増やしていくことだと考えます。

松永
悠良
さん

【質問者】2年

⑤ 私たちが住んでいる徳島県では、南海トラフでの被害を大きく受けていると言われています。津波などに対し、どのような対策をされていますか。

武山
光憲
議員

【答弁者】

津波に関する北島町ハザードマップには、「津波」「洪水」「高潮」の3種類があります。地震時指定緊急避難場所としては、高潮時指定緊急一覧表17ヶ所、洪水時指定緊急避難場所一覧表17ヶ所、津波避難場所一覧表29ヶ所、福祉避難所3ヶ所、要配慮者利用施設一覧表41ヶ所、津波の到着時間等が示されています。

地震が発生すると、松茂沖で約50～60分後に約5mの津波水位が想定され、北島町内では4mまで浸水する地域があります。また、津波避難対策の1つとして、高速道路の下を整備した「中村老門地区津波避難タワー」と「太郎八須地区一時避難場所」の2ヶ所を設けています。

松本
唯達
さん

【質問者】
2年

⑥ 近い将来、南海トラフ地震が来ると言われていますが、避難した際の食料などは現在の人口と比べて足りるのでしょうか。また、何日分ぐらい準備されていますか。

松田
亮平
議員

【答弁者】

災害時を想定した食料等の備蓄体制は、発災後3日間の食料と飲料水を、自助(住民)・共助(事業所・自主防災組織等)・公助(町・県・国)のそれぞれで連携して貯うことを前提としています。

発災後1日目は、家庭や地域から持参した備蓄食料、2日目は、北島町の各避難施設の備蓄、3日目は、県の備蓄の提供分、4日目からは、県や国からの支援物資。で対応します。北島町内の各避難施設の備蓄は、1人につき食料は2食分、飲料水は500ml×6本分の量を基準目標とし、避難施設に収容される想定人数の1日分の必要数量を貯うための備蓄を行っているというのが現状です。

馳川
美桜
さん

【質問者】
2年

⑦ 北島町には、きたじまるしぇがあります。私も何度か行ったことがあります。とても楽しいです。他にもイベントを増やすことができたらもっと楽しいと思うのですが、イベントを増やす予定はありますか。

夷谷
大輔
議員

【答弁者】

きたじまるしぇを楽しんでいただき、ありがとうございます。北島町には、他にもひょうたん夏まつりやチューリップフェアなど季節のイベントがありますが、より住民の皆さんに楽しんでいただけるよう、既存イベントの開催回数の増加や内容を充実させることも含めて検討いたします。

村上
詩歩
さん

【質問者】
2年

⑧ 北島中学校のテニスコートにはライトがないため、部活動をする時間が短いのでライトをつけてほしいです。グラウンドにはライトがあり、他の部活動は遅くまで部活動ができます。

天羽
慶喜
議員

【答弁者】

本町では、多くの公共施設が改修の必要な時期を迎えており、財源を考えながら優先順位をつけ、整備をしている状況です。厳しい財政状況の中ですが、町民の方にテニスを楽しんでいただけるようクリーンテニスコートを新設しました。部活動でもご活用ください。

中学校テニスコートの照明設備については、費用面や周辺環境への配慮など課題もあり、すぐの設置は難しいですが、テニス部が日没後も活動できるよう対応を検討していきたいと思います。

梶平
晴幸
さん

【質問者】
1年

⑨ 現在北島町は、たくさん的人が移住してきています。そのような中で、今北島町で一番力を入れて取り組んでいることは何ですか。

中野
真由美
議員

【答弁者】

どの課題にも力を入れて取り組んでおりますが、一部をいくつかご紹介します。

まずはDX(デジタルトランスフォーメーション)です。北島町がデジタル化の波に乗り遅れないようにアンテナを張って取り組んでいます。

そして企業誘致による雇用機会の増進です。町独自施策を取り入れ、企業を数多く誘致しました。今後もこのコンパクトな町に、より多くの方が住めるよう空き家対策にも取り組んでまいります。この他に、子育て支援、高齢者・障がい者支援、防災、地域の活性化・社会基盤整備にも取り組んでおります。

後藤
優衣
さん

【質問者】
1年

⑩ 実際に私の妹が通っている保育園では、待機児童が多くなってきているみたいなのですが、誰でも通園できるように保育園の数を増やすことはできますか。

佐々木
紀子
議員

【答弁者】

これまでに、保育園の認可や、開設・増築などを行い、園児の受け入れを増やしてきました。その結果、令和4年度と5年度の4月時点では待機児童ゼロを達成できましたが、年度途中の受け入れの際には、待機児童が出ているのが現状です。

解消のためには、施設も含め国の配置基準による保育士の確保も必要となります。町立保育所では、数年かけて正規保育士を増員し、申込者の希望に近づけるよう取り組んでいますが、今後も待機児童を発生させないよう努力してまいります。

佐野
心優
さん

〔質問者〕
1年

- ⑪ 2024年、北島町ではどのようなことを進めていきたいと考えていますか。

三原
光騎
さん

〔質問者〕
1年

- ⑫ 町報では、防災対策の一環として、「防災・情報メール」の登録者数が2,192人と非常に少ない状況で、登録者を増やす努力をされると書かれていますが、具体的にはどのような方法を考えられていますか。

森
千晶
さん

〔質問者〕
1年

- ⑬ 北島町の魅力を広めるために、何か発信していることはありますか。また、北島町をよりよい町にするために、北中生にできることは何でしょうか。

三原
慶也
さん

〔質問者〕
1年

- ⑭ SDGsで「CO₂の排出を減らす」という項目があります。しかし、北島町にはCO₂排出を減らすための緑が少ないと感じます。何かそういう対策はありますか。

板東
泰史
議員

〔答弁者〕

2024年、北島町は今までの政策を更に進めています。特に力を入れているのが、「ゼロカーボンシティ宣言」です。二酸化炭素の排出量を減らす取組ですが、北島町は水素が自給できるために新時代のエネルギーとして注目しています。北島町役場でも公用車に水素で走る燃料電池車を買いました。他にもDXや、社会福祉の伴走型支援の充実など、時代の流れや住民の要望に添った政策を充実していきます。

武山
光憲
議員

〔答弁者〕

災害や避難などの情報は防災無線でお知らせしていますが、風向きや天候等により聞こえない時があります。情報を確実に皆さんへ届けるために、「北島町防災・情報メール」の登録をお願いしているところです。12月7日時点での登録件数は、2,150件でしたが、幼稚園と小中学校の保護者の方に登録案内チラシを2,600枚配布したところ、12月末時点では483件増え、2,633件に伸びました。命にかかる問題であるため、今後も様々な機会を通して登録の呼びかけを行っていきたいと考えています。

梶哲也
議員

〔答弁者〕

本町では発信としてインスタグラム、フェイスブックなどのSNSで自然と花を中心とした投稿で魅力を広げています。また、ふるさと納税制度を利用した返礼品による発信をしています。この返礼品による発信は北島町に関連する特産品を町外の方に知ってもらう役割をしています。よりよい町にするためには、中学校での中学生活をどの中学生よりも楽しんでください。中学生がいきいき楽しんでいる町が良くならない理由はありません。楽しい中学生活がおくれるよう、議員としてサポートしていきたいと思います。

天羽
慶喜
議員

〔答弁者〕

本町には森林がなく、CO₂を吸収してくれる緑が少ない状態にあります。そこで、夏に「緑のカーテン事業」を実施しております。ゴーヤなどのつる性植物を日の差し込む窓の外側に植え付けてカーテン状に育て、葉っぱからの直接的なCO₂の吸収や、遮光による室温上昇を抑えることにより、冷房機の使用量を減らす取組を目的とした事業です。町内の学校や町民の方へ、5月頃にゴーヤやひょうたんの苗を無料配布しておりますので、ぜひご参加ください。

中学生との町民会議を終えて

コロナ禍の影響で議場での開催は久しぶりであり、生徒の皆さんとの直接対話ができたことに喜びを感じました。

今回、議長席を生徒会長にお願いし、議会運営を体験していただきました。貴重な体験をもとにこれから「町づくり」に主体的に参画していただけるよう期待を申し上げます。とともに、今回の開催に際し、ご尽力賜りました関係者の方々に心より感謝を申し上げます。

議会改革推進特別委員長 宮本 敬行



北島中学校で 出前授業



令和5年12月11日議員13名で、北島中学校1年生に向けて出前授業にお伺いしました。

これからますます複雑化、複合化する時代に突入する中、「何を選び、何をしなくてはいけないか」ということと、また、故郷を愛し、北島町の力強い未来の担い手として活躍してもらえるよう、期待をこめてお話をしました。



- テーマ**
- ① 議会のしくみ
 - ② なぜ議員になったの？
 - ③ 中学生にとって大事なこと



中学校出前授業開催

北島中学校1年生の貴重な特別授業時間をいただき、北島町議会初めての試みである出前授業(一般会議)を開催いたしました。議員全員が各6クラスに別れ議会の仕組み及び議員の仕事を説明したのち、若い世代の子どもたちと様々な意見交換をさせていただきました。最近の地方選挙における投票率の低下に危機感を抱きつつ、町政に少しでも関心を持つ機会になればと期待しています。最後にこのような機会をいただいた学校関係者の皆様に心より感謝を申し上げます。

議会改革推進特別委員長 宮本 敬行

県の「こうのとり応援事業」終了後、本町の助成事業の方向性を問う

不妊治療の助成制度の創設を

問 令和4年4月以降、不妊治療の保険適用が拡充されたとはいえ、自己負担額も依然としてあり、当事者から出費がかさむと聞いている。

不妊治療について本町の相談体制はどうなっているのか。

答 朝野子育て支援課長

徳島大学病院内の不妊相談室をご案内している。また、町ホームページでも案内している。

問 現在、町内でどれだけの方が不妊治療を受けられ、国の助成制度を活用しておられるのか。

答 朝野子育て支援課長

令和4年4月から、保険適用になつたため、医療情報を把握することはできなくなつた。

問 県の「こうのとり応援事業」は終了となつたが、本町における応援成事業の方向性はどうか。

答 朝野子育て支援課長

すぐに本町独自で助成事業を

開始することは難しいが、他自治体の取り組みを勉強しつつ、考えていただきたい。

不妊治療の医療保険適用はまだ始まつたばかりであるため、今後の国や県の動向も注視していきたい。

GIGAスクール構想の現状と端末の有効活用について

問 少中学校で、1人1台の学習用端末の配備が完了して約2年が経過したことから、現在の状況を伺いたい。

①端末の持ち帰り学習の現状はどうか。

答 栗田教育委員会事務局長

家庭学習でのタブレットの本格的な活用はまだこれからの状況である。

各家庭の通信環境は、ほぼ整つており、ルーターや貸し出しも行っている。

各学校で教科ごとにICTを活用した多様な学びを実践している。

②自宅での通信環境整備は100%できているか。

③教科ごとの目標設定と達成度合いはどうか。

④児童生徒の個人情報の適正な取扱とサイバーセキュリティ対策はできているか。

⑤ICTの活用で教員の業務負

担が軽減でき、児童生徒と向き合う時間の確保や教育の質の向上につながっているか。

⑥各学校間や児童生徒の間で格差は生じていないか。

⑦ICT支援員は、現状の人数で足りているか。

ICT支援員が各校月2回の頻度で巡回している。支援員増加の要望もいただくが、なお一層効果的な支援体制の構築に努めていく。



その他の質問

- 「重点支援地方交付金」の早急かつ効果的な活用について
- 不登校の保護者への支援について
- 中学3年生と高校3年生のインフルエンザの予防接種費用の一部助成について

ささきのりこ
佐々木紀子 議員



北島町HP(町議会)
の動画配信にて
一般質問全編の映像
がご覧いただけます。

約1千万円は検証が必要！再生可能エネルギー策定事業

2050年カーボンゼロを宣言している北島町は、民間のコンサルタントに策定事業を委託していますが、中身は疑問だらけです。まちみらい課長に質問しました。

問 一般家庭の2030年の太陽光発電設置目標は、5,879kW、2050年14,777kWである。財源はあるのか。

答 中西まちみらい課長

ご指摘のとおり町単独の財源だけでは難しいかと思われる。そこで国の補助金を活用したり、今年度より開始した県の補助金の案内をするなどして実現を目指したい。

問 産業部門の太陽光発電設置目標は2030年が657kW、2050年1,315kWである。産業部門は一般家庭の10分の1となっている。反対ではないのか。

答 中西まちみらい課長

産業部門の導入目標に関しては、費用面でのハードルが住宅への導入に比べて高いこと、現時点で町や県での補助を実施している

再エネ導入 取り組み内容

太陽光発電	家庭部門 (住宅)	<ul style="list-style-type: none"> 2030年: $4\text{kW} \times 1,470\text{戸}$ (戸建て世帯の20%に導入) = <u>5,879kW</u> 2050年: $4\text{kW} \times 3,694\text{戸}$ (戸建て世帯の50%に導入) = <u>14,777kW</u>
	産業部門 (建築物)	<ul style="list-style-type: none"> 2030年: 657kW (工業専用地域、準工業地域内の150m以上の建築物343施設のうち6% [20施設] に導入) 2050年: 1,315kW (工業専用地域、準工業地域内の150m以上の建築物343施設のうち12% [40施設] に導入)
	廃棄物発電	<ul style="list-style-type: none"> 2050年: 一般廃棄物処理施設の新設・更新・改良時等におけるエネルギーの有効利用 (例:バイオガス発電) $60\text{kW} \times 1\text{基} = 60\text{kW}$ (熱)

ないことなどから、導入実現性の面で一般家庭部門よりも普及が難しいと考え、目標を低く設定している。

問 工エネルギー導入検討委員会のメンバーは大企業の幹部職員ばかりである。住民からの代表は誰もいない。これでは公平な検証はできない。株四電技術コンサルタントを議会に招聘して、説明会を開催すべきである。

答 中西まちみらい課長

本事業における検討委員会の委員は15名で構成されており、産業関係者やエネルギー関係者の他、住民の方代表としてPTA連合会会長及び婦人会会長にもご参加いただいている。幅広い観点から検証できていると考える。

大谷選手のグローブが！
全校児童に触ってもらう



その他の質問

- 健康福祉問題について
- 農用地利用計画問題について
- まちみらい課問題について
- 噫煙場所問題について
- 保育事故問題について

ると思うが、どのような取扱をするのか。

答 栗田教育委員会事務局長

グローブについては先日、希望調査があり3校とも希望している。送付される時期は未定だが、届いたらまずは、全校児童に触れてもらうことにしている。

メジャーリーガーからの貴重な贈り物をきっかけに、スポーツ全般への関心につなげていふことができればと考える。



ます たに さだ ゆき
増谷 穎通 議員



北島町HP(町議会)
の動画配信にて
一般質問全編の映像
がご覧いただけます。

防災意識の向上を！

防災訓練について



問 一般参加者が300人余りと少なく改善の必要性を感じた。

避難訓練は毎年全校区で実施し、体験、施設見学などを毎年校区変更し実施するはどうか。

答 大西危機情報管理課長

多くの町民の皆さんに関心をもつていただける訓練になるよう、展開の仕方に工夫を凝らしていきたい。

庁舎内のWi-Fiについて

問 現代の行政運営において、庁舎内にWi-Fi環境を整備することはデジタル化の推進、業務の効率化、そして町民サービスの向上が期待できる。来年度導入を検討しているのか。

答 藤高総務課長

来年度導入は考えていない。

しかしながら、Wi-Fiの整備については、必要性があると認識している。

空き家対策について

問 本町では令和4年度の空き家実態調査で446件が空き家であると分かった。活用促進の取組として、他自治体では空き

家バンクの活用や、自治体ホームページへの掲載などをしてい

れる。

問 第三者も含めた協議会を立ち上げ、協議してはどうか。

るが、本町ではどのように考えているか、伺いたい。

答 中西まちみらい課長

活用促進については「とくしま回帰」住宅対策総合支援センターと連携して、空き家情報バンク制度で空き家活用のサポートを行っている。

森本社会福祉課長

来年度は、広報の方法を見直すとともに、並行して本町の地域交通に関する協議会を立ち上げ、時間帯やコースなどの得意を見をいただき改善し、試験的運用にも取り組みたい。

ぐるぐるバスについて

問 利用状況は令和3年度が1,315人、令和4年度が1,517人と利用者が少ない状況が続いている。なぜ利用者が少ないのであるか。また、分析は進んでいるか。

答 森本社会福祉課長

バス利用方法についての周知が十分でない事もあると考えられる。



かじ てつ や 哲也 議員



北島町HP(町議会)
の動画配信にて
一般質問全編の映像
がご覧いただけます。

公共施設の掲示と公益性

町の公共施設による掲示ルールについて

問 庁舎エレベーター内に「エレベーター内にチラシを掲示する場合は総務課の許可が必要です」との張り紙があった。

答 藤高総務課長 総務課の許可基準はどのよう

なものか。

問 同様に町が設置するごみ集積所に無許可らしい掲示がされている。以前担当課に問い合わせたところ、子ども会の廃品回収や環境美化のための告知などは公益性に資するとして認めているとのことであつた。

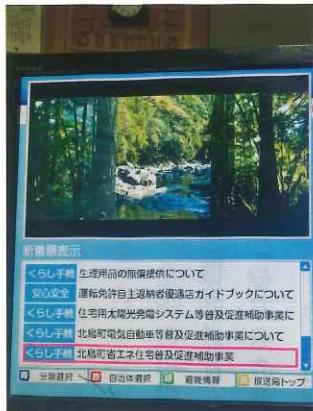
この運用に変更がないのなら対応すべきではないか。また、ごみ集積所の掲示について公式にルールを設けるべきではないか。

答 藤田清掃センター所長 ごみ集積所の管理は使用する



四国放送によるデータ放送について

問 昨年より四国放送のデータ放送を利用した広報がなされているが、これを利用した人数の把握は困難ではないかと思われる。



情報のダイバーシティその対価は

四国放送より視聴率のデータについては提供を受けていない。データ放送を見たかどうかは判定できかかる。またその内、北島町の放送を見たか判定できるか。

答 藤高総務課長

四国放送より視聴率のデータについては提供を受けていない。四国放送のデータ放送を閲覧した件数は、令和4年10月から令和5年9月の月平均の閲覧件数は56,391件であり、そのなかで「テレビde広報誌」から本町広報の閲覧件数は把握できないとの回答であった。

改めて町報などでもご案内し、多くの方々にご覧いただけるよう努めていく。

四国放送によるデータ放送について

現時点では諸外国を含む、各企業が実用化に向けた研究開発を進めており、今後の動向に注視つつ、費用対効果等も考えながら導入を検討していきたい。

自治会等にお願いしている。掲示については、自治会行事の告知や環境美化啓発、公益に資するものは清掃センターの許可を必要とせず、自治会等の判断で掲示していただいている。

個人のお知らせや広告、當利を目的とした掲示物は許可しておらず、毎日の収集作業中に許可のない掲示物を発見した場合は、撤去をお願いしている。

答 藤高総務課長 目的とした掲示物は許可してお

は逐次提供を受けているか。データがあるならどれくらいか。

答 藤高総務課長 四国放送を見たか判定できるか。

ゼロカーボンシティへ新たなる一步

次世代太陽光発電の導入について

問 ペロブスカイト太陽電池は従来のシリコンパネルに対しても100分の1、重さ10分の1で曲げることができ、曇り空や蛍光灯でも発電が可能で、発電効率は従来型とほぼ同じである。町公共施設の壁面などに採用する検討をしてはどうか。

答 中西まちみらい課長

今年10月に政府が2025年

の実用化を目指す考えを表明した。

現時点では諸外国を含む、各企業が実用化に向けた研究開発を進めており、今後の動向に注視つつ、費用対効果等も考えながら導入を検討していきたい。

ばんどう やすふみ
板東 泰史 議員



北島町HP(町議会)
の動画配信にて
一般質問全編の映像
がご覧いただけます。



人を想いやる心を育む 北島町へ

命の大切さに改めて気付き、自己肯定感を高め、他人への思いやりを育み、命の尊さを学ぶ授業を北島町でもしていただきたいという思いで一般質問いたしました。

赤ちゃん授業について

を検討していきたい。

④ 全国的に展開されている赤ちゃん授業は、命の大切さに気

付き、自己肯定感を高め、他人への思いやりを育む内容である。阿南市では独自の事業として、市内の小中学生対象に行われている。また、徳島県でも県内の小中高・大学生を対象に事業を行っている。赤ちゃん授業の必要性についての考え方を聞きたい。

答 粟田教育委員会事務局長

乳幼児等とのふれあい体験は、児童等にとって多くのことを学ぶ機会になると考える。

現在、学校現場で実施している、さまざまな教育や行事の予定等も考慮しつつ、実施の可否

出産を控える方への教室について

を検討していきたい。

④ 現在、さまざまな育児教室が行われているが、産前産後の心のケアが本当に大切であると考える。

パートナーになる方への教室の必要性を感じるが、考えを聞きたく。

答 朝野子育て支援課長

現在行なっている、母乳相談や楽育教室では、妊娠婦やパートナーの方も参加でき、助産師が赤ちゃんを迎える準備物やお

風呂の入れ方、抱っこ仕方や寝かしつけについて話し、希望者には妊婦体験を行なつてい

る。各種教室や妊娠の届出時、児指導や心のケア等を今後も実施していきたい。

防災訓練について

④ 北島小学校にて開催された防災訓練での一般町民の参加

人数を聞きたく。

へのアンケートなどはしてい

いい災害に対してもおかしくな取り残さない町をつくるため、防災訓練の重要性を質問しました。



赤ちゃん訪問等の機会を捉えて、パートナーになる方への育児指導や心のケア等を今後も実施していきたい。

のか。

答 大西危機情報管理課長

一般市民の参加者は、計303名であった。町報にてアンケートを実施し、職員からも意見を集約している。これらを今後の訓練に生かしていきたい。

④ 体が不自由な方の避難に関する、どのような対策、準備、周知がなされているか。

答 大西危機情報管理課長

聴覚に障がいのある方や外国の方などにはコミュニケーションボードを活用していく。

車椅子を使われる方への対応には、サポートー養成講座の実施・拡充に努めるとともに、避難所開設訓練などをを行い、事前の対応訓練で、多くの方々が共通認識を持つるようにしていきたい。

えびす や だい すけ
夷谷 大輔 議員



北島町HP(町議会)
の動画配信にて
一般質問全編の映像
がご覧いただけます。

承認！

令和5年第4回定例会常任委員会Report！

令和5年12月議会では、15議案が上程され、慎重審議の結果、すべて承認いたしました。一部を紹介いたします。

・産業建設常任委員会

商工振興費
企業立地奨励金

今年度6企業に交付しておりますが、当初見込より設備投資が増え、償却資産税が増えたことや、新規雇用の人数が確定したため、不足分の額補正を承認しました。

町内創業を応援！

北島町創業支援補助金とは、県や商工会が主催するセミナーを受講し、町内で創業する事業者に、補助金を交付するものです。今年度は、希望する事業者が多く、さらに5件分を増額し、町内商工活性化につなげてまいります。

(報告)中村地区地区計画の現状について

ハローズ北島中央店さんから、さらに北側に位置する(中村字福神)では、現在、開発行為が進められています。計画の変更策定を時系列で説明を受け、緑地についても回答いただきました。今後、大きな変更がある場合は、順次報告されます。

・文教厚生常任委員会

価格高騰重点支援地方交付金

令和5年12月1日を基準とし、本町に住民登録があり、令和5年度に住民税均等割が非課税である世帯や、家計急変世帯（予期せぬ収入減少で世帯全員が住民税非課税法等）を対象に7万円が給付されます。

(報告)北島南幼稚園駐車場整備工事について

北島南幼稚園駐車場整備工事について、12月中旬に請負契約にかかる指名競争入札を実施し、現在、契約事務が進んでおります。南幼稚園の駐車場の利便性が高まります。

北島町立保育所の遊戯室を改修！

保育所の遊戯室に白アリが発生し、今年の8月に駆除しましたが、床がでこぼこになつたり、穴が開いたり、隙間ができたりと危ないため、床の張替え工事をするものになります。

保育所の行事は、全て遊戯室で行うため、子どもの安全・安心を第一に考え、工事を実施するものです。

冬の感染症リスクに備える！

今年度、インフルエンザ感染者の増加が見込まれる中、新型コロナとの同時流行も懸念されております。徳島県が高齢者の自己負担金の半額（800円）の助成を行うことに伴い、例年より多くの方が接種することを見込み、予防費が増額されました。

・総務常任委員会

住民票やマイナンバーカードに「ふりがな」が記載

住民票等に氏名等の振り仮名を記載し、また、今後のマイナンバーカードへの氏名等の振り仮名及びローマ字表記等の実現のために、必要となる機能を整備し、関係システムとの連携も可能となるよう住民基本台帳システムを改修するものです。

産前産後期間相当分（4ヶ月分）の国民健康保険税が減額されます！

令和5年1月1日以降に出産予定の被保険者が対象です。

この条例の施行日は令和6年1月1日となります。そのため、令和5年度は、産前産後期間のうち令和6年1月以降の期間分のみが減額対象です。

相当期間分の所得割均等割保険税が年税額から減額されるもので、期間中の保険税が0円になることは限りません。

減額期間は、出産予定月の前月から出産予定月の翌々月の期間の4ヶ月分となります。

また、多胎妊娠の場合、出産予定月の3ヶ月前から対象となり6ヶ月分となります。

減額されるためには、届出が必要です。（届出書の他に必要書類もございます。詳しくは、税務課へお問い合わせください。）

当議会では、閉会中に所管ごとに重要課題を検討し、先進地の取組事業を学ぶため、調査研究しております。行政と議会が、ともに学び、ともに考え、またそれぞれの角度から提案や検証を重ね、本町に即した実践ができるよう、これからも努めてまいります。

産業建設常任委員会

研究テーマ

東京都内の調整池整備

訪問理由

河川に囲まれた北島町の水害対策をより強固なものにしたい！
増水時の水害対策施設の1つとして、道路や公園などの敷地の下にトンネルや箱形の構造物を設置する調整池を学びたい！



結果

普段は、テニスコートや駐車場・サッカー場として利用しているが、増水時に河川から水を引き入れ、天候が回復した後に少しずつ川へと自然排水される仕組みである。
利用頻度は、年に2回～5回ほど。近隣住民の安心安全な治水対策として、機能している。また、2キロ上流には、地下の雨水貯留施設や田んぼ、ため池なども整備しており、生物観察や農業体験といった野外学習の場としての活用もされていた。
広域での取組みであるため、国や県と連携していく必要性も認識できた。

研究テーマ

虹の下水道館

訪問理由

下水道の役割や水環境の重要性を目で見て体感し、下水道施策に生かせるよう知識を増やしたい！



結果

下水道についてのビデオ視聴を始め、家庭から出た排水の流れを、透明の配管により目で追える展示があった。
普段見ることのできない地下での様子（下水道管内や工事の状況）が目視でき、勉強になった。また、高低差を利用して排水を流すためポンプ場の重要性などが理解でき、今後の下水道施策の見える化に貢献できるよう取り組んでいきたい。

総務常任委員会

研究テーマ

ふるさと納税拡充の経緯と方策

日時 令和6年1月17日～18日

場所 宮崎県新富町

一般財団法人こゆ地域づくり推進機構（こゆ財団）

訪問理由

近年、第三次産業が発達してきた本町は、常々「ふるさと納税」の低迷に頭を悩ませている。十数億円のふるさと納税額を誇る、新富町独自のふるさと納税施策を学びたい！

結果

新富町ふるさと納税の特筆すべき独自性は、町職員の発案による一般財団法人の設立である。当初は6名が在籍していたが、現在は23名となり、約半分がふるさと納税の業務を行っている。
その結果、返礼品の総数は553品、それを支える返礼品出品事業所は、68にのぼり、集めた金額は直近の6年間で90億円にもなる。

【新富町の主な返礼品】

- ①ウナギ：宮崎県は養殖ウナギの生産（全国3位）、新富町も昔から養鰻業が盛んで加工まで町内で行う。
令和4年度はウナギだけで、約3億5千万円の寄附金を集めます。
- ②鶏卵：児湯養鶏協同組合で1万6千トンを出荷し、約2億円。単価の割に包装が大変だということ。
- ③フルーツ：南国ならではのマンゴーを始め、国産品は1%しか出回っていないライチを「1,000円ライチ」としてブランド化することに成功。寄附額は8,000万円強だが、利益率は一番良い。

～学びポイント～

- ①町内産の原料がなければ、加工場を作ること。
- ②原料が使われていれば、町外の商品でも返礼品にできること。
- ③生鮮食料品およびオリジナル商品は、在庫管理が大変だということ。
- ④競合が起きにくい商品は有望なので注力するべき！など。

～これからの考察点～

- 原料および加工品の現状の把握が、十分できているか確認すべき。
- 財団を設立しないまでも、体制は確立させるべきではないか。



視察報告

— よりよい、まちづくりを模索 — 「調査研究のまとめ」



全体研修

研究テーマ

窓口業務のデジタル化

日時 令和5年8月24日
場所 石川県穴水町



訪問理由

職員提案がきっかけで、役場窓口での「書くことへの負担軽減」と「待ち時間の短縮」が期待されることから実現した施策を学びたい！

結果

マイナンバーカードの利用による、「書かない窓口」のシステムが導入され、運用を開始しており、住民の負担軽減にも有効であることが実感できた。
読み取り機が一台であるため、混雑する時間帯がある点などが、今後の課題であるとのこと。
本町でも数台導入できれば理想的だと考えるが、庁舎のレイアウトや、費用対効果も含め、慎重に議論し、便利な窓口となるよう協議を重ねていきたい。

研究テーマ

マイカー乗り合い公共交通 「ノッカルあさひまち」

日時 令和5年8月25日
場所 富山県朝日町



結果

「ノッカルあさひまち」は、過疎化の進む地積が広範な町では有効だが、本町で同様の運用をするには、地域事情が異なることや、ニーズにも違いがあるように感じた。
朝日町は、新幹線駅までのシャトルバスや、複数路線によるコミュニティバスの運用など、数多くの地域交通が充実しており、見習いたい施策も多々あった。
本町も、利用者目線に沿った、福祉バスを含めた地域交通が設計できるよう、行政とともに模索し、実践していきたい。

文教厚生常任委員会

研究テーマ

子育て応援「5つの無料化」

日時 令和5年11月1日
場所 兵庫県加西市



結果

全国でもトップクラスと言っても過言ではない「子育て支援5つの無料化」について、学びたい。
ライフステージに応じた子育て支援事業を展開しており、その内容と予算について研修！

子育て支援の更なる強化として、令和4年度より「病児病後児保育の無料化」「かさいすくすく子育て定期便」「0歳から2歳の保育料を無償」なども実践中。
財源は、ふるさと納税全国13位の実績によるもので、納得が得られた反面、目に見えない将来的な課題も抱えていることが伺えた。
本町も、実践できる施策を慎重に議論し、子育て支援を拡充していきたい。

研究テーマ

コミュニティ交通事業

日時 令和5年11月2日
場所 岡山県玉野市



結果

本町のぐるぐるバスをよりよくしたい・利用者増を実現したい！
玉野市コミュニティ交通も、当初は不便（1周90分以上の循環型）とされていたが、改善を重ね、利用者が増加傾向にあることに注目し、研修を実施した。
市内1周90分以上かかる循環型を2分割し、右回り左回りの運行形態に変更し、目的地往復型として見直しが行われる。
東京のシステム会社に委託し【シータク】と呼ばれるタクシー運行も並行し、山間部の住人に特化した交通事業も展開中。循環型バスとタクシーの相乗効果で子どもから高齢者まで喜ばれるコミュニティ交通事業を実現しており、本町も利用者のニーズに合った公共交通や、ライドシェアなどを模索していきたい。

伝える×届ける

PTA役員の声

16名に聞く

小中学校PTA役員懇談会

日時 令和5年10月24日
場所 議会委員会室

各常任委員会に分かれて、小中学校PTA役員の皆さまと懇談会を実施いたしました。

北島町議会は議会基本条例において、幅広い分野からの専門家、町民等の参加による議員研修会を年1回以上開催するとしております。以前、議会モニターとの懇談会を実施し、今懇談会は、今年度2回目の実施になります。小中学校のことや地域のことなど様々なテーマについて意見交換をし、ご要望やご提案をいただきました。

まちづくり

- ぐるぐるバスが、夕方にも乗れるようにしてほしい。
(子どもの塾や習いごとに利用できるように)
- ぐるぐるバスの時間は、融通がきかないから使いにくい。
- ボランティア活動をした方に、ぐるぐるバスの乗車チケットを配布してはどうか。
- 板野警察署横のTSUTAYA跡に、なにか店舗を誘致してほしい。
- 中央公園の公園部分は、もっと明るい感じにならないか。
(陰や死角が多く、子どもを遊ばせるには、ちょっと怖く感じる。)



インフラ

- 通学路の整備について
(●雑草が生い茂る箇所 ●水はけが悪い箇所 ●道がでこぼこ過ぎて、自転車や車椅子などの方には危ない箇所など)
- 老門交差点の信号を通学時以外の時間帯は、前の状態に戻してはどうか。(渋滞がひどい)
- 商工会前の交差点はスピードを出す車が多いので、登下校時間帯は、子どもファーストにならないか。



防災

- もしも、子どもの登下校時に災害が起こったら？対策が必要でないか。
(どこに逃げるか？避難場所の確認など)
- ホームページの防災情報をもっと見やすくしてほしい。
(避難支援マップ、ファーストミッショントリニティボックスの拡充など)
- 自主防災会をもっと活発化する仕組み・工夫を考えよう。
- 意思疎通の強化を（学校と役場、学校と保護者など）



教育

- 体育館の大型扇風機の数が少ない。皆が使える扇風機を増やしてほしい。
- 児童館の預かり保育をもっと充実してほしい。
(夏休みは宿題を見てほしい。絵や書道など)
- 各小学校の立哨当番で、毎回出てこない方もいる。平等性に欠けるのでは？
- 校則が現代に適していないと感じる。一度見直ししてはどうか。
(髪型：みつあみやツーブロックは、今も禁止？)
- 学校の講演会で聞きたい講話について
(●夢をおいかけて成功した体験記●不登校生であったが成功できた体験記●コミュニケーション力、人間力を身につける話など)
- スマホの使い方について（安易な利用で、怖いところを再認識）
- 図書館での自主学習が、常時できる体制になってほしい。



あつたらしいいな！を カタチ にしよう。



その1

国に対し、「刑事訴訟法の再審規定の改正を求める意見書」の提出を求める請願は、議員提出議案として意見書となり国・関係機関に提出されました。

請願の内容について、理解を深める。

冤罪をなくすための、法改正を目指すという主旨は理解でしたが、再審規定の法整備は大変難しく、専門家から説明を求めるため、本町議会は弁護士を招き、法改正の重要性について勉強し、審議しました。

刑事訴訟法の再審規定(再審法)の改正を求める意見書

(要旨)

罪を犯していない人が、犯罪者として法による制裁を受ける冤罪は、その人の人生を破壊し、人格を否定すると同時に、法制度自体の正当性を失わせるものである。冤罪はあってはならないと誰しも認めることでありながら、後を絶たない。

再審開始が認められて無罪となる過程では、大きな壁を乗り越えなければならない。大きな壁の一つは、検察が捜査で集めた証拠を隠匿し、証拠を開示しないことにある。次に大きな壁は、再審開始決定に対する検察による不服申立てが許されていることだ。

よって、再審法制における証拠開示制度の確立、検察官の上訴制限が焦眉の課題であり、誤った有罪判決を受ける無辜の者を迅速に救済するために、下記のとおり再審法制の改正をおこなうよう強く求める。

- 一、再審請求人の求めに対し、検察が有する証拠の全面開示を法整備すること。
- 二、再審開始決定に対する検察の不服申立て(上訴)がいたずらにおこなわれることのないよう制限を加えること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和5年12月21日

提出先

衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 法務大臣

その2

日本政府に保育所等保育施設の職員配置基準改善等を求める意見書の提出を求める請願は、議員提出議案として意見書となり国・関係機関に提出されました。

ヒューマンエラーをなくすため、対策を講じよう!

日本政府に保育所等保育施設の職員配置基準改善等を求める意見書

(要旨)

近年、公立・私立を問わず、保育施設において子どもの安全が脅かされる事故が繰り返されています。これらの保育施設での事案では、単なる過失によるものだけではなく、保育士や保育教諭等の保育施設職員の人員不足による保育現場の過酷な労働実態も浮き彫りとなっています。

しかし、保育士の職員配置基準は、1歳児で1967年から、4・5歳児では1948年の制定時から変更がされておらず、3歳児においても加算措置にとどまっていることから、職員配置基準自体の改善を行なうことが求められます。

さらに、学童保育施設の基準についても、職員配置や施設に関する基準の踏み込んだ改善検討を行うことが重要です。

- 1 保育所等保育施設の職員配置基準を改善すること。
- 2 保育所等保育施設・学童保育施設の職員の待遇を改善し、標準的な労働者の年収を確保するための予算を措置すること。また、正規職員としての就労を希望する非正規雇用の職員の正規化及び非正規雇用の職員の雇用安定を促すための支援策を講じること。
- 3 保育所等保育施設・学童保育施設で働く職員の人員確保策を早急に策定・実施すること。
- 4 こども・子育て支援加速化プランの具体化にあたっては、保育所等保育施設の運営が公立・私立にかかわらず、十分な財源措置を行うこと。

また、学童保育に関する予算についても、職員配置基準の改善や施設・設備の充実に必要な額を充足する財源措置を行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和5年12月21日

提出先

衆議院議長 参議院議長 総務大臣 財務・金融大臣
厚生労働大臣 文部科学大臣 少子化・こども政策担当大臣 内閣総理大臣

※意見書は一部抜粋しております。

議会広報編集特別委員会では、読者の方からのご意見・ご感想を募集しております。

下記の募集要項により手紙、FAX、意見箱(北島町役場3階・議会事務局前)へお寄せください。

募集要項

- ・氏名・住所・連絡先
- ・本文400字以内

北島町お問合せフォーム

<https://www.town.kitajima.lg.jp/inquiry/>

早いもので、卒業シーズンと
いう節目の月になりました。
就職、進学、進級と新しい環
境への期待や不安等あるかと思
いますが、私たち北島町民は、
ますます、あなたの方をあたたかく見
守っています。県外へ進学され
る方も生まれ育った北島町へ帰っ
てきていただけるよう、私たち
議会も、町民の皆さんとともに、
笑顔あふれる町づくりに努めて
まいります。また、議会広報では、読ん
でいる間も、もらえる広報誌となるよう広報
委員一同、研鑽を重ねてまいり
ます。ご意見、ご感想等ござ
ましたら、是非、議会事務局へ
お寄せください。

編集後記